

災害ボランティアセンターは 災害時に設置される被災者を支援するための活動拠点です。

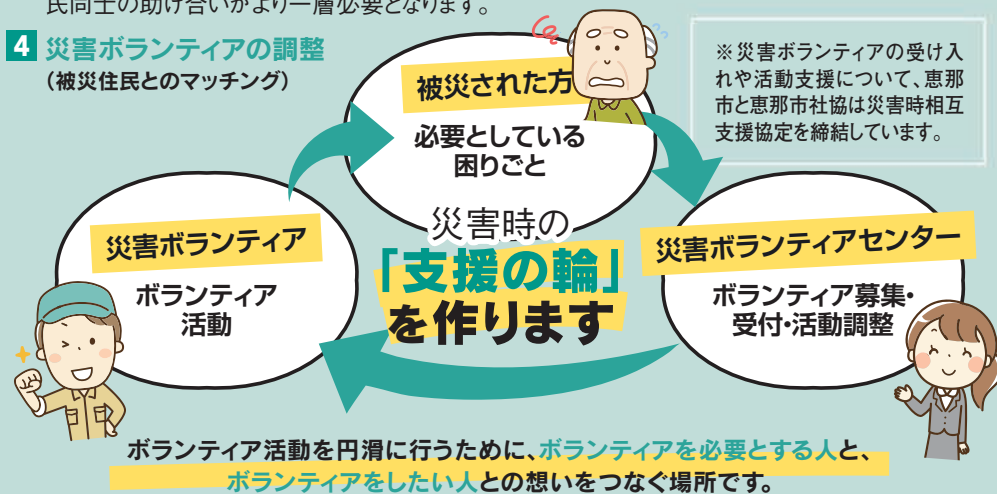
災害ボランティアセンターの主な役割は以下のとおりです。

- 1 被災者が必要としている情報収集(被災住民ニーズ)**
地域の皆さんから集められた被災住民の困りごとがとても大切な情報となります。
- 2 災害ボランティアの募集など情報発信**
- 3 災害ボランティアの受付**
これまでは県外・市外からのボランティアを受入してきましたが、新型コロナ禍においては感染症予防の観点から、広範囲でのボランティア募集を見合わせる可能性があります。そのため、地域住民同士の助け合いがより一層必要となります。
- 4 災害ボランティアの調整(被災住民とのマッチング)**



恵那市ボランティア・市民活動支援センター
からのお知らせ

災害 ボランティア センター



「社協」は「地域の皆さん」と
災害に備えます

近年、地震や水害など大規模な自然災害が発生しており、その復旧・復興にはボランティアの力がとても重要となります。恵那市において災害により甚大な被害があり、ボランティアによる支援が必要であると認められた場合、関係機関と協議し、恵那市社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を設置・運営します。



恵那市社協では災害時に
備えた活動をしています



災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施



被災地への災害ボランティア活動(平成30年7月豪雨災害)

問い合わせ 恵那市ボランティア・市民活動支援センター TEL0573-26-5221(代)

社協 活動紹介

市内に13ある社協支部では、それぞれの地域の特性を活かしながら、地域内の福祉課題やニーズに対して主体的・自発的に福祉活動を展開しています。

ボッチャでコミュニケーション(長島支部)

障がい者スポーツの中でも子どもからお年寄りまですべての人を対象とする競技、ボッチャ。長島支部では、障がい者スポーツの理解や地域の人たちの交流の機会創出を目的にボッチャを購入しました。今後、地域でのサロン活動や福祉学習の一環など地域での活動に役立てていきます。

